

# イベントの随意契約について

平成 26 年 11 月 11 日

交 通 局

## 1 事案の概要

平成 26 年 11 月 6 日の新聞報道において、交通局が昨年計画し中止となった地下鉄駅構内でのイベントについて、交通局長の知人と関わりがあるイベント制作会社と随意契約を結び、800 万円を支払った、との報道がなされました。

## 2 経過

この事案に関する経過は次のとおりです。

平成 25 年 5 月 17 日（金）

- ・ イベント制作会社と「心斎橋駅を中心として利用者の増加、駅空間の快適性の向上等を目的とするアートフェスタに関する調査及び研究にかかる契約書」を締結

平成 25 年 9 月 19 日（木）

- ・ イベント制作会社が企画提案書を提出

平成 25 年 10 月 31 日（木）

- ・ 800 万円をイベント制作会社に支払

## 3 随意契約理由

鉄道事業者各社の利用者数が長期的に減少傾向にあると見込まれているなか、大阪市営地下鉄においても乗車人員は年 1% 程度（年間 700 万人）減少するものと想定されるが、そのような状況のなか、交通局としては様々な対策を通じて減少に歯止めをかけることを目標に掲げている。

特に地下鉄利用者の 4 割強の方が利用する御堂筋線での取り組みが効果的であると考えられるが、梅田駅、淀屋橋駅、なんば駅、天王寺駅は、他社線のターミナルでもあり、他社グループの大型施設が開業するなどして活性化している駅もある一方、本町駅と心斎橋駅は、他社線のターミナルではないことから、交通局が沿線意識を持ち、独自に増客に取り組むべき駅であると認識している。

このうち、心斎橋駅は、ギャラリーメトロがあるとともに、ストリートミュージシャンの演奏会も開催していることから、いわゆるアートフェスタを心斎橋駅及び本町駅で実施することにより、増客の可能性が見込まれる。

また、アートフェスタを通じて、駅空間の快適化について利用者の声を聴く機会になるものとも考えられる。

さらには、御堂筋は世界に誇ることができる街路であることから、御堂筋のさらなるブランドカアップにもつなげる取り組みとすることにより、大阪を世界に発信することができると思われる。

今回の業務は、上記目的を達成するために質の高く実施可能なアートフェスタの内容を調査する業務で、鉄道事業の増客を目的とするものであることから、同じ鉄道事業者で実績をあげ

ているイベントの企画運営に参加した方のノウハウが必要である。

そのため、数々の音楽のライブ運営に実績があり、かつ、上記イベントの企画運営者とも円滑な連携をとることができる事業者は当該イベント制作会社しかなく、また、終電後の心斎橋駅において、在阪のVIPなどを集めた正装したパーティーを開催し、和洋の踊りや音楽などのパフォーマンスの実演を全世界にUstreamでリアルタイムに発信するという世界的にも珍しい企画をもっていることから、調査及び研究を依頼するものである。

#### 4 結び

当局といたしましては、上記の理由によりイベント制作会社と随意契約を行いましたが、交通局長の知人と関わりのある会社と随意契約を締結したことについて、今後一切、このようなことは行わないこととし、そのためにも、やむを得ず随意契約を締結する場合には、交通局契約関係者との関係を十分に調査することといたします。